



日本共産党文京区議会議員  
**まんだち幹夫** 通信  
 2008年9月19日号 No.66

**'みなさんをいつもまんやかに、**

区議団控室：5803-1317（直通）  
 萬立幹夫事務所：文京区小石川2-23-7  
 ・fax 3868-8355

メール：mandachi@jcp-bunkyojugidan.gr.jp

《このニュースは区議団ホームページ <http://www.jcp-bunkyojugidan.gr.jp/>でもご覧いただけます》

小林進 日本共産党  
区議団幹事長 が逝去されました

区民のために尽くしてきた二十一年間、  
 区政・国政革新のその遺志を、  
 必ず受け継いでゆきます

秋の町会子ども祭の準備をしていた13日午前9時、「ご家族からの連絡を受けて東大病院へかけつけました。しかし親族のみならずが見守る中、6月から闘病中だった小林区議が10時33分帰らぬ人となりました。まことに残念無念、ただただ、「冥福を祈ります。」

小林区議が議員になる前、私が学生のころから、いろいろお世話になり、その後も、同じ共産党文京地区の役員として、長い間、ともに活動してきました。

昨年の区議選では、小林区議がずっと活動してきた白山、西片地域をわたしが受け継いだ際には、7名当選のためと多大な支援をしてくれました。



今年の4月末、区議団で愛知県犬山市に視察に行ったときの写真（中央が小林区議）。このときは元気いっぱいでしたから、ほんとうにわからないものです。16、17日の葬儀には多くの方が参列されました。感謝申し上げます。

新しい区議会構成で

第二党になったもとで、幹事長として、区政革新のために、また国政でも、共産党の出身のときに、あまり

に早い逝去は無念としか言いようがありません。

まじめで冷静、区民のためには労をいとわず、また子どもが好きでスポーツマン。そんな小林区議はいつまでも私たちの中にいます。果たせなかつた遺志を受け継ぎ、頑張らねば、と思わなければ……。



4月、高浜市のリサイクル施設で

**区立保育園の増設を  
 廃プラスチックは資源化を**

8日から始まった定例区議会本会議では、高畑議員が代表質問、関川議員が一般質問しました。区政の課題山積です。「保育園待機児解決の緊急対策会議」をうけては、党は『保育の質を確保するため区立園の増設』を訴えました。しかし区長は、区の責任を回避するような認証保育園の誘致をその柱にすえています。

10月から不燃ごみまで燃やす「サーマルリサイクル」が始まりますが、ゴミの資源化、再利用の立場から、23区のうち14区では容器包装用のプラスチックは資源回収する方向がだされています。それでも区は燃やすことに固執するのか！問われるところです。

**まんぢん目録**

- 12日 今議会から国府田委員と差し替わり「清掃リサイクル特別委員会」の所属になりました。初めての委員会で戸惑いましたが、「サーマルリサイクル」問題中心に質問しました。
- 13日 朝7時から町内の祭り準備。その直後、小林議員のもとへ駆けつけましたが、「冥福を祈ります。」
- 16日 通夜、17日葬儀をお手伝い。
- 14日 葬儀の打ち合わせと白山2丁目のマンション建設にかかわる住民のみなさんと対策会議。
- 16日 「防災・安心安全まちづくり特別委員会」。一般質問で、白山通りの歩道の駐輪対策をとりあげました。「禁止区域」への対策改善が必要です。